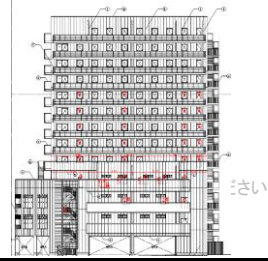


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマタネ藤沢ビル新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県藤沢市南藤沢16-1,2,3,4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	350人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、ホテル、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2018年12月5日
敷地面積	1,308㎡	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	809㎡	確認日	2018年12月6日
延床面積	5,868㎡	確認者	大和ハウス工業㈱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止に努めた取組みを行っている。 		
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 遮音性能、温熱環境、光環境、空気質環境に配慮している。 	Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 機能性、耐用性に配慮している。 階高、壁長さ比率の確保等、空間のゆとりにも配慮している。 	Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 緑化を行っている。
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能の向上に努めている。 	LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 節水性能に配慮している。 リサイクル材の活用にも努めている。 	LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー性能を高め、LCCO₂排出率の削減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される